

協同組合  
全日本通訳案内士連盟  
JFG

平成28年2月10日(水)  
規制改革会議資料1.

# 協同組合 全日本通訳案内士連盟 JFGのご紹介

## JFGの創立

- 1982年 日本初の通訳案内士の同業者団体として創立
- 1994年 国土国交省の認可を得て、協同組合として法人格取得

## JFGの特徴

705名全員が国家資格通訳案内士の全国団体

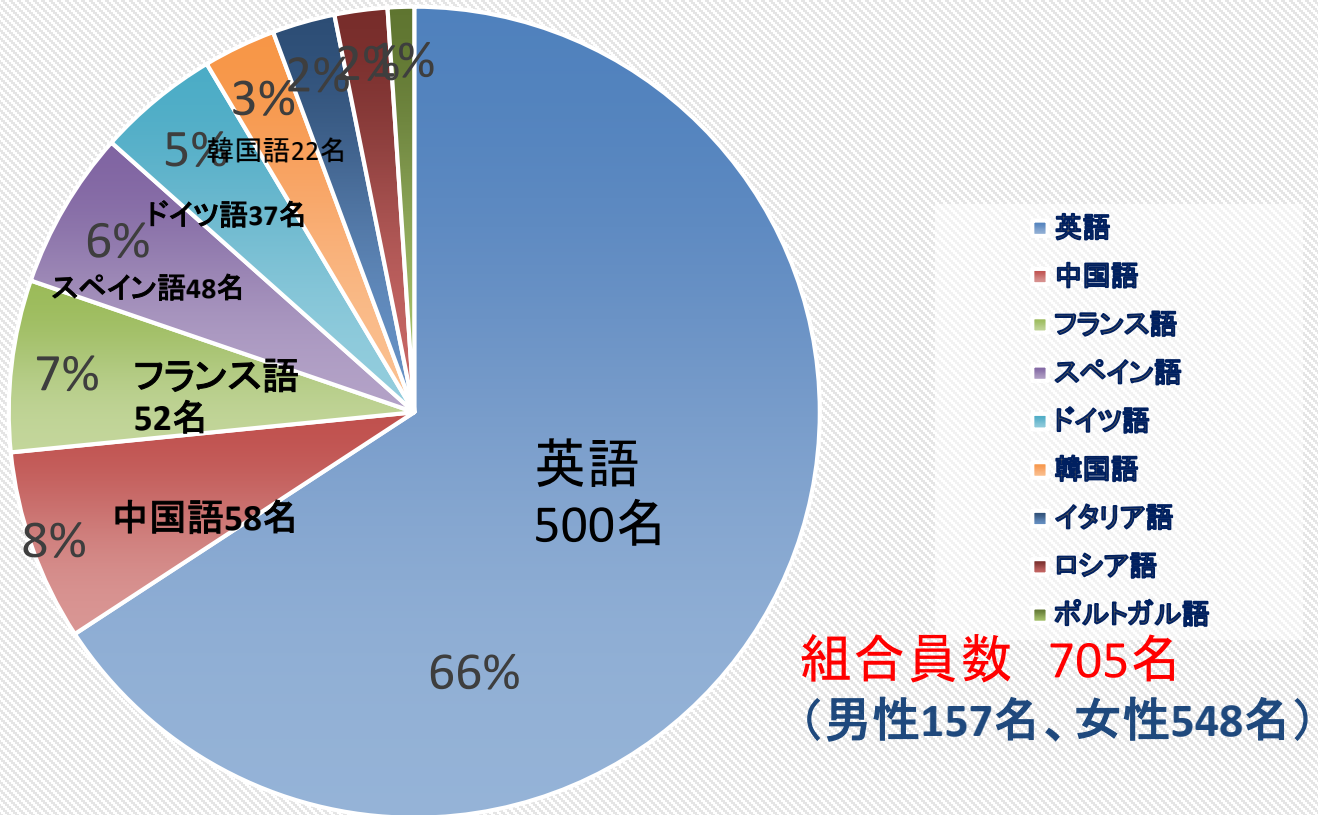
- 創立の理念:「職務を通して国際貢献をする通訳案内士の社会的・経済的地位の向上と優秀な後継者の育成」
- 事務局に事務職員4名はいるが、仕事の共同受注斡旋、研修、広報などすべての事業を通訳案内士自身で行っている
- 収入のすべてをメンバーの組合員の研修や就業促進に使っている(=2014年度以降は受注が大幅に伸びたので、研修費を一日基本1000円に減額した)



通訳案内士による通訳案内士のための団体

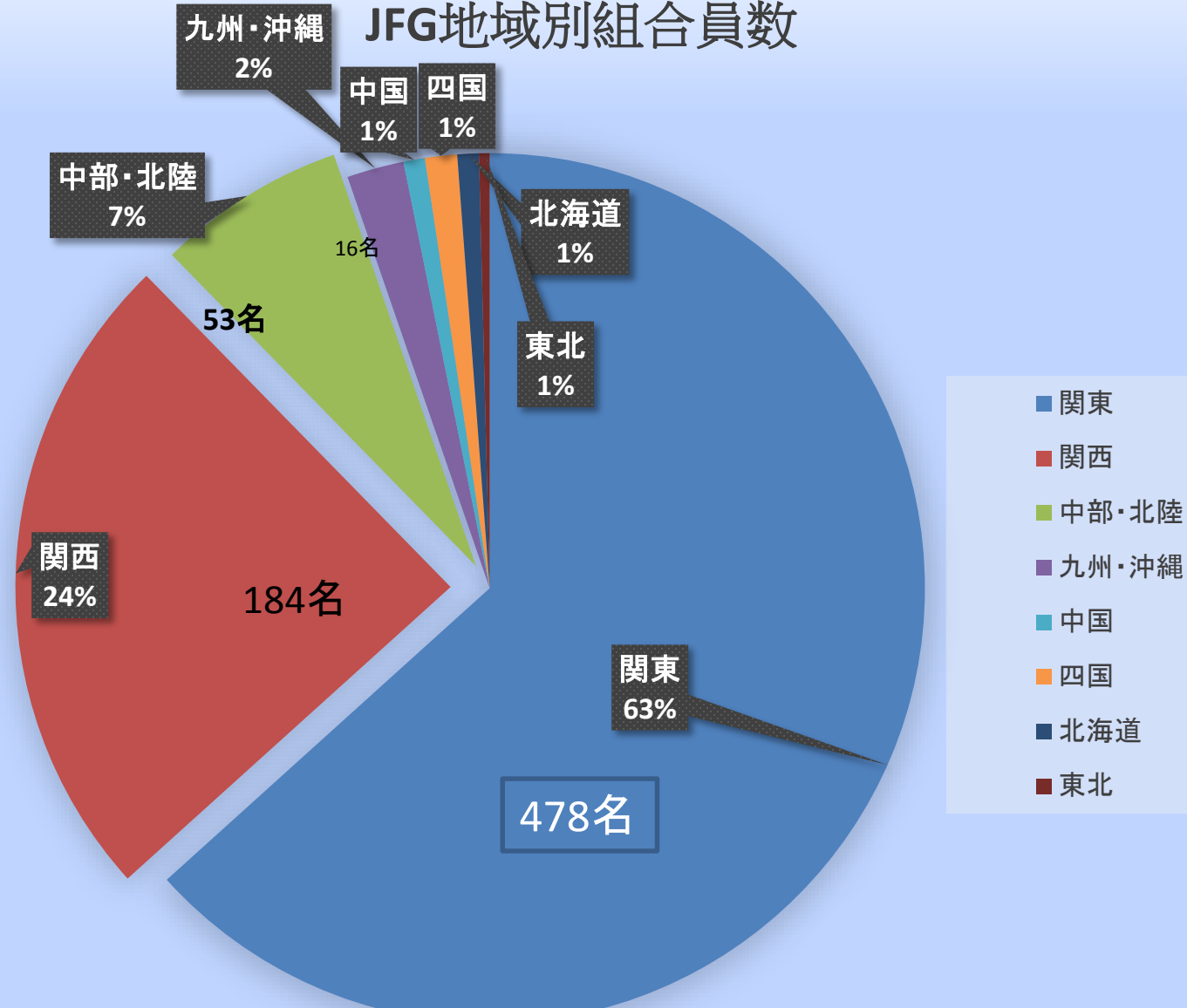
# JFG組合員データ

JFG言語別組合員数



英語500名、中国語58名、フランス語52名、スペイン語48名、ドイツ語37名、韓国語22名、イタリア語19名、ロシア語16名、ポルトガル語8名（複数言語資格保持者あり）

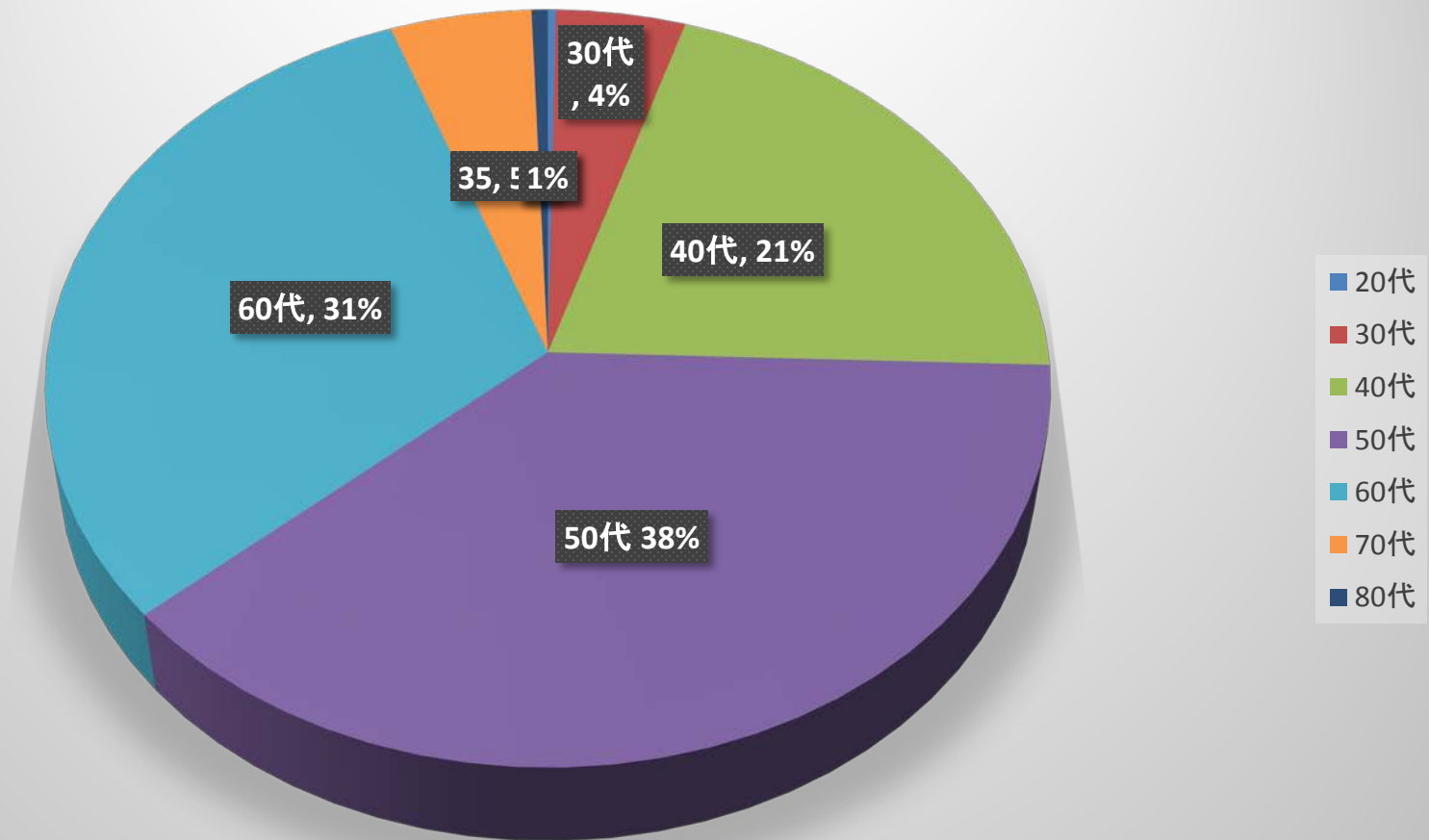
# JFG地域別組合員数



関東 478名、関西 184名、中部・北陸 53名、九州・沖縄 16名、  
中国 6名、四国 9名、北海道 6名、東北3名

# 年代別組合員数

年代別



20代:2名、30代:32名、40代:145名、50代:267名、60代:216名、70代:35名、80代:4名

# JFG組合員言語別年間稼働日数

JFG組合員言語別年間稼働日数(2014年度)

		JFG言語別稼働日数 平成26年度 (単位：人)									
		英	仏	独	西	伊	露	葡	中	韓	
稼働日数	0日	48	6	4	2	0	1	0	12	3	
	1日～50日	119	16	15	12	6	7	2	10	11	
	51日～100日	71	7	3	4	2	4	2	12	0	
	101日～150日	47	2	3	6	2	0	1	7	1	
	151日～200日	22	2	0	2	1	1	0	2	0	
	201日以上	4	1	0	0	0	0	0	1	0	

**\* 56%が年間就業50日以下、2008年の観光庁統計からあまり改善していない。**

\*組合員705名中、就業参考表提出者数：484名

# 質の向上方策:JFG研修会

- **新合格者研修会**（関東5日間、関西3日間）  
バスを多用する実地研修、添乗業務とガイドングの基本習得
- **ブラッシュアップ研修会**（関東と関西で開催）  
新人のデビューを支援するための内容
- **プレゼンテーション研修会**  
FIT対応の少人数実地研修と組み合わせて研修＋新人発掘
- **業務研修会**（関東・中部・関西で開催）  
現場ニーズに合ったかつ自主研修しにくい内容の研修会

# JFG研修会記録(2015～2016 2月)

## <2016年 関東>

- 1月8日 「江戸二大大名庭園めぐり」六義園、小石川後楽園
- 1月13日 「富士箱根バス研修」ふじさんミュージアム、北口本宮富士浅間神社など
- 1月28日 名古屋城本丸御殿、大須地区 実地研修
- 2月5日 「日本の社会保障」、「日本の火山」

## <2015年 関東>

### 新合格者5日間研修会 (バス3台、うち2台は英語特化)

- 1月27日 「墨田区ウォーキング」実地研修「新幹線と世界の高速度鉄道」講義
- 3月 6日 バス実地研修「和紙の里 小川町」埼玉伝統工芸会館、紙漉体験、和紙工房、酒蔵見学など
- 7月3日 「和菓子と和食」講義 7月4日 「皇室建築」 「イスラエルとユダヤ人」講義
- 7月～8月 ブラッシュアップ研修会(8回実施)：「FIT実地ウォーキング研修」コース：皇居、表参道
- 8月7日 ブラッシュアップ研修会：「金沢集中講座」
- 12月2日 「谷中・根津・千駄木」実地研修：レクチャーと「谷根千」あちらこちらの散策

### <2015年 中部地区>1月19日「飛騨の宮大工と飛騨家具」実地研修：「宮大工の仕事」講義と飛騨家具工場見学

- 7月13日 金沢市東茶屋街にて女将および現役芸妓さんの話
- 7月14日 バスツアー実地研修：「金沢～JR岐阜駅」五箇山菅沼集落見学、郡上八幡の食品サンプル工房見学など

## <2015年 関西地区>

### \*新合格者3日間研修会

- 2月20日 「アニメ・マンガ研修」：「漫画家という職業、イスラム圏におけるマンガ・アニメ表現事情
- 6月17日 姫路城大天守保存修理工事：姫路城実地研修、「姫路城の大修理」講義
- 7月29日 英語プレゼンテーション：「京都の代表的な観光地について」または自由課題
- 8月17日 ブラッシュアップ研修会：「芸舞パーティ徹底攻略実地研修」芸妓・舞妓・地方さんを  
実際によんでの芸舞パーティ開催、その際のガイドの業務学習
- 8月24日 「和食を学ぶ研修」：調理デモンストラーションと「京都中央市場の魚の流通と美味しい  
魚の見分け方」講義
- 12月2日 「角屋もてなしの文化美術館・清宗根付館・八木邸」実地研修
- 12月3日 ブラッシュアップ研修会：「FIT実地ウォーキング研修」コース：嵐山・嵯峨野
- 12月13日 「野鳥観察と大覚寺の研修」：「日本で楽しむバードウォッチングと鳥の基礎知識」講義、  
大覚寺見学、大沢池周辺にてバードウォッチング
- 12月15日 英語プレゼンテーション：「京都の代表的な観光地について」または自由



# JFG研修会記録(2014)

- <2014年 関東地区>

- \* 新合格者研修会 5日間

- 1月10日 日本庭園研修:「禅の庭」講義、「新宿御苑」実地研修
- 6月26日 川と東北:「江戸・東京の河川」講義、「イザベラ・バードの東北紀行」講義
- 6月28日 ブラッシュアップ研修会:「皇室と京都御所、京都の近代化、京都の秘密・日本の秘密」
- 7月19日 東京&古伊万里研修:「東京(1964~2020)-3つの五輪と建築・都市」講義  
「古伊万里入門-やきものの基礎からその歴史的背景まで」講義
- 8月4日 富士箱根バス研修:富士吉田市歴史民俗博物館、おし街散歩、船津胎内樹型、岡田博物館
- 8月28日 ブラッシュアップ研修会:「FITツアーの傾向と対策」コンシェルジュからの話&座談会
- 12月9日 文楽研修:文楽鑑賞「二人三番叟」「絵本太功記」解説「文楽の魅力」  
「文楽よもやま話」三味線方による文楽の語り、三味線、鑑賞のポイント

- <2014年 中部地区>

- 1月22日 伊勢神宮研修:皇學館大学佐川記念神道博物館、式年遷宮記念せんぐう館、内宮
- 7月29日 赤沢自然休養林:職員による森林と式年遷宮についての解説  
奈良井宿:宿場町案内

- <2014年 関西地区>

- \* 新合格者研修会 3日間

- 2月5日 訪日ムスリム受け入れ対応研修:イスラーム入門講座、ムスリム受け入れの先進事例紹介、ハラールメニューの試食と解説
- 5月24日 淀川の歴史を探る船旅と中之島ウォーキング:船旅(枚方港~八軒家)、淀川資料館、枚方宿「鍵屋」、  
東洋陶磁美術館、中之島ウォーキング
- 7月9日 英語プレゼンテーション:「和食」「日本の祭り」または自由課題
- 7月22日 酒と器:講演「外国人から見た日本のやきものの魅力」、堀野記念館見学、  
講義と実演「キンシ正宗の酒造り、日本酒のタイプ分類、料理との相性について」
- 8月22日 スキルアップ研修:「仏教ガイディング実地研修@東寺」仏教、密教、仏像、空海等について
- 12月1日 ものづくりの町、東大阪工場見学、日帰りバス研修: MOBIOものづくりビジネスセンター大阪、  
講演「小さな旅館の「モノづくり観光」を通じた地域活性化への取り組み」、2班に分かれて町工場見学
- 12月11日 英語プレゼンテーション:「日本の四季を紹介しよう」「今新聞で話題になっている  
日本事象」または自由課題

# 通訳案内士制度をめぐる意見

## 世論

訪日客が急増しているのに通訳ガイドが不足しているらしい。



## 政府・自治体

早急に規制改革して特区ガイドを増やしましょう！  
業務独占を排除して誰でもガイドできるようにしましょう。

## 通訳案内士

忙しいのは桜の時だけ！！新人や地方では仕事がありません…

## 旅行会社・ホテル

新人さんでは怖くて大切なお客様には使えない…

## 通訳案内士

中国語と韓国語は絶望的状況です…

## 通訳案内士

収入は少なくとも、日本を紹介することに誇りを持っています。

## 旅行会社

料金が安いガイドさんもほしい…

## 若者

通訳ガイドの資格を取っても生計がたたないらしいから受験するのはやめておこう

# 通訳案内士制度の課題整理

## 1. 通訳案内士は本当に不足しているのでしょうか？

訪日観光客数の約70%が中国語、韓国語圏のお客様

無資格添乗員が業務独占  
状態

それ以外の30%の訪日客の多くは個人客で、その多くはスマホなどを利用して自力で観光

世論が心配するほどガイドは不足していません

## 2. アンケートなどでは、旅行エージェントや関係各所もガイドが足りないと回答していますが？

不足しているのは、桜の季節だけ、信頼できる  
中堅以上のガイドではありませんか？

新人や急増している新合格者に就業の機会を与えてください。

## 3. 地方では通訳ガイドが見つからなくて困っています

地方で資格を取っても就業の機会がないので、転職してしまうのです。  
(石川県、岩手県、栃木県、山梨県、長野県他の通訳案内士団体からの情報)

# 総合特区特別区域法案に対する附帯決議

- 平成23年通常国会/総合特別区域法案に対する附帯決議
- 衆議院内閣委員会
- 七 総合特区通訳案内士制度については、地域における訪日外国人旅行者ニーズを踏まえ、通訳案内士法に基づく通訳案内士及び外客誘致促進法に基づく地域限定通訳案内士を補完することが必要な場合において、特定の観光資源や限定エリア等、地域の特性に応じたきめ細かなサービスを提供するものとし、特区自治体が的確な研修を行うことを担保することにより、そのサービス水準の低下を防ぐこと。
- また、総合特区通訳案内士が通訳案内士法に基づく通訳案内士及び外客誘致促進法に基づく地域限定通訳案内士とは別途の制度であることについてユーザーに的確に周知することにより、通訳案内士制度に対する信頼が損なわれるようなことがないよう万全を期すこと。
- 参議院内閣委員会
- 八、総合特区通訳案内士制度については、地域における訪日外国人旅行者のニーズを踏まえ、通訳案内士の数が不足しているなど、通訳案内士法に基づく通訳案内士及び外客誘致促進法に基づく地域限定通訳案内士を補完することが必要な地域に限って実施するとともに、総合特区通訳案内士の資格取得のための研修は、有償で通訳ガイドサービスを求める訪日外国人旅行者のニーズに応えることができる十分な密度の濃い内容とし、修了時に実力の判定を行うなど、通訳案内士制度に対する信頼性の確保に努めること。
- なお、総合特区通訳案内士の資格を得て通訳案内業務に従事する者については、その経験と実績に適切に配慮して、将来、通訳案内士試験を受験して、オールラウンドな資質を有する通訳案内士となることを奨励すること。

協同組合  
全日本通訳案内士連盟  
JFG

平成28年2月10日(水)  
規制改革会議資料2.

## 2. 有償の通訳案内が通訳案内士の業務独占とされていることについての見解

### 優秀な通訳案内士は観光立国の付加価値となる

人口の減少する日本で、将来訪日観光を国の主幹産業に据えるべきですが、そのためには日本をアジアの近隣国よりも魅力的な付加価値を持った国にする必要があります。そのためには自国の観光資源の特性を理解し、質の高いサービスで提供でき、日本ファンを作る役割を果たせる通訳案内士を確保し、信頼できる日本のイメージを維持することが不可欠です。実際訪日客の帰国時に日本の感想を聞くと「日本人が親切で信頼できたのが一番印象に残った。町は清潔で治安も良く、また来たい。」と答える方がほとんどです。優秀な通訳案内士は、リピーターを増やし訪日観光に貢献しています。

### 通訳案内士は業務独占どころか、無資格ガイドに業務独占されているのが現実

訪日客は急増していますが、その70%以上が中国語圏と韓国からのお客様です。つまり通訳案内士ではなく、無資格ガイドが仕事を業務独占している状態なのです。また昨今では個人客が激増中で、そのほとんどがスマホなどを利用してセルフガイドをしています。参考資料の統計にあるように、訪日客が過去最高になった2014年でさえ通訳案内士の就業状況は2008年の観光庁統計（54.5%が就業年間30日以下）からさほど改善していないことが分かります。ガイドが足りないからという業務独占廃止の理由が見当たりません。

### 訪日外客の期待を裏切らない良質の通訳案内士の保護と日本の若者の雇用促進

試験や研修もなしで、誰でもガイドの仕事ができるようになれば、値崩れが起こり若い世代が生業として成り立たない通訳案内士を選択しなくなります。2015年からようやく新人の就業機会も改善しはじめ、参入を考える人も増えてきています。その参入意欲をそがないでください。日本のイメージを損なう外国の無資格者の行為を正当化することになる業務独占廃止ではなく、日本の若者の雇用の機会を増やし、将来に渡って日本の観光を支える質の高い通訳ガイドを育てることが国益になります。また悪質なガイドは口コミで淘汰されると言いますが、淘汰されるまでにこれまで保たれてきた日本のガイドに対する信頼が損なわれてしまいます。

## 有償と無償では訪日外客の期待が天と地ほど違う

有償の通訳ガイドと無償のボランティアに対する訪日外客の期待するものは全く別物だということはインバウンドを扱う旅行会社は皆知っています。多少語学や知識に不足があっても無償なら大きな問題になりませんが、有償の場合は、たとえ低価格のガイドであっても、他の観光先進国を訪れたことのある目の肥えた欧米などのお客様の要求のレベルは高く、そのレベルに満たないガイドは即座にクレームになり、旅行会社は全額返金を求められるだけでなく、発注元の海外の旅行会社からの信頼を失います。

## ネット情報活用でカバーできるような内容のガイドは利用されない

通訳ガイドは仕事の依頼のあったところは離島であっても下見に行き備えるのが常識です。準備のための時間と経費の掛かる職業です。そうした覚悟のあるプロと、ラーメンや相撲に詳しいからと会社員の副業ガイドの質が同じはずはありません。またグルメツアーやショッピングツアーなどは、今では海外でも地元民より詳しいグルメやショップのネット情報が得られます。これとグーグルマップを使って自力で行けるので、よほどユニークなものがないと有料での需要は見込めません。またこうした変動するニーズに対応するための自己研修は、通訳ガイドはすでに行っており、それに対応できないガイドが生き残れるほど、甘い仕事ではありません。

## 通訳案内士は、訪日客の身体と生命の安全を守る責務がある

通訳案内士は「身体生命の安全」に関わらないので、業務を独占させなくていいというのは事実と異なります。私たちには、日本滞在中の訪日客を地震や災害時に的確に誘導しその身体と生命を守るための危機管理の任務があり、さらにはツアー中のけがの防止のための案内、急病時に病院に付き添い通訳も務めるなど、他の業務独占資格と同等の以上の責務があります。

## 悪徳な添乗員の目的は安価なガイド料ではない

悪徳な添乗員は無資格でガイド料をもらえないから悪徳商法を行っているのではなく、もともと低いガイド料より、高額なキックバックが目的で取り締まりのない日本を商売の場を選んでいただけです。資格を欲しがっている人はいないそうです。現在は周辺にお店も何もない郊外のホテルもどきに宿泊させ、ホテルの中で電気用品など売りまくって儲けをあ

げているとのこと。資格は気にしていなくても、誰でも有償ガイドができるとなれば、彼らの思うつぼになります。

### 爆買いはある日突然終わる

今の中国からのツアー料金は4～5万円ですが、数年もすると中国にも良い品が出回ったり、ネットで注文するようになったりして日本での爆買いもなくなると言われています。そうした層の数だけ増やそうとするのではなく、徐々に増えている富裕層にターゲットを絞るべきです。富裕層は日本の伝統産業やミシュランに載る和食にも関心があり、落ち込んでいる伝統産品を購入してくれ、日本の文化を尊重し、日本と中国の懸け橋になってくれる人たちです。そうした人たちは、日本の文化や歴史をしっかりと伝えられる日本人の通訳案内士をリクエストしてきます。業務独占を外したら、そのような人材は消滅してしまいます。軽井沢でのバス事故も、中国人観光で運転手が足りなくなったこと。そして規制緩和で、低価格で安全管理の甘い会社が増えたことが原因のひとつだと言われています。さらには、日本中の風光明媚な観光地が、急増する安価なバスツアーのために、過剰な混雑、駐車場の不足、トイレの不足に悩まされ、観光地としての魅力を失っていくところが増えています。数より質を重視した訪日観光を目指していただきたいです。

### 中国からの観光客が日本を好むのは日本人と日本の商品を信頼しているから

中国の観光客が日本好きなのは、日本人と日本の商品が信頼できるからです。信頼できない商品を売り込む無資格のガイドを日本が取り締まるようになれば、日本への信頼はもっとまして、訪日客数はもっと伸びるでしょう。

3. 今後一層の外国人観光客の増大（量の変化）やニーズの多様化（変化）が見込まれる中、通訳案内士がより充実した活動ができるようにするために必要なこと

### 若い世代の参入を促す援助策

若い世代の受験を促す方策を立てる。たとえば受験料（現在11,700円）の免除や減額、更には合格後の実務研修受講費用も国や地方で援助することで、若い世代の参入の意欲を高めてください。



### ランドオペレーターへの罰則設置

通訳案内士法を改正し、無資格ガイドを使って悪徳な店などに連れて行かせているランドオペレーターへの罰則を設けてください。ちょうど今中国の春節ですが、今回当組合でヒアリングをした組合員のほとんどが、仕事が皆無だそうです。

### 桜の季節だけでなく、冬季観光の観光客誘致

現在桜の季節に集中している訪日キャンペーンですが、冬の観光資源を開発し売り出すことで、通年で就業が安定するようになれば、すでに合格していて稼働の機会がなかった通訳案内士の活用が可能になります。更には、地方への観光地活性化にもなります。